

シカ・イノシシ・サルの被害が全体の7割 野生鳥獣から農作物被害を守る

全国的に野生鳥獣による農作物被害が大きな問題となっています。農林水産省が4月にまとめた統計によると、平成22年度の全国被害額は239億円で、前年度に比べ26億円の増加であり、全体の7割がシカ、イノシシ、サルによるものだそうです。特にシカ、イノシシの被害が顕著に増えています。

本町でも、被害が大きいことから電気柵・防止柵の設置に対して、上限を10万円として、資材費の1/2を補助します。

野生鳥獣 被害防止対策補助金

【事業の趣旨】

野生鳥獣による食害から、農作物の生産を守るため。

【事業の目的】

町内の茶園、畑、森林を守り、農林産物を安定的に収穫できるようにするため。

【事業の内容】

農産物を守るために設置する、電気柵・防護柵の資材費に対して1/2を補助します。

【資材費の参考価格】

▽イノシシ用(2~5万円)

▽シカ用(4~10万円)

▽サル用(5~15万円)

【補助金】

資材費の1/2以内

(千円未満切り捨て)

補助金の上限は10万円です。

【補助金の交付希望の方は】

「補助金事業の流れ」を用意してありますのでお気軽にお問い合わせください。



防護柵の設置例(写真上部)。実施はまず要望書から。

6月3日、坂京地区集会所で、33名(坂京区民27名、県中部危機管理局職員1名、県島田土木事務所職員1名、役場建設課職員4名)が参加して、土砂災害防災訓練を開催しました。講習会では、手作りハザードマップの作成などを行ない地元地域の危険な箇所を把握、避難場所、経路の確認を改めて確認し防災意識の向上に努めました。

自然災害の脅威

毎年、全国各地で大雨による土砂災害が発生し、特に近年は狭いエリアで短時間に大雨が降る「局地的豪雨」現象による被害が増加しています。昨年の雨季は、台風の当たり年で6・12・15号が接近又は上陸し、その都度「土砂災害警戒情報」が発表されました。本町でも各地で土砂災害が発生し、改めて自然災害の脅威を感じました。

町民自らが 危険を判断する力

近年の「局地的豪雨」に対応するには、避難マニュアルを過信することなく、町民自らが危険を判断し、自主避難等に結び付ける防災意識の向上が必要不可欠です。地域特有の土砂災害の危険性や避難所を確認し、適切な避難ルートを検討するため、手作りハザードマップの作成や、土砂災害防災訓練の実施により、町民の防災意識と「地域防災力」のさらなる向上を図ることが必要となります。



手作りハザードマップを作成することで、危険箇所の情報共有につながる。

局地的豪雨に備え、土砂災害防災訓練を開催 地域防災力の強化を目指して

3市2町で消防救急業務の広域化に取り組んでいます

地域のより安全・安心な暮らしのために

本町では、現在常備消防業務を島田市に業務委託することにより、救急や火災等に対応しています。

一方、私たちを取り巻く社会経済環境の変化は、災害の多様化や大規模化に加え、救急需要の増大をもたらしています。

さらに静岡県では東海地震等の大規模な災害の発生も危惧されています。

このように私たちの暮らしに密着した消防への需要が高まる中、より充実した消防サービスの実現に向けて、静岡市、島田市、牧之原市、吉田町そして川根本町の3市2町で、消防救急業務の広域化に向けた取り組みを始めています。

6月1日には静岡地域消防救急広域化運営協議会を設置しました。これから平成28年度の広域化に向けて、より安全で安心な暮らしのため、常に変化に対応し、私たちの期

待に定める消防を目標に、構成市町で力を合わせ準備を行っていきます。

広域化すると、どんなメリットがあるのでしょうか

▽本部機能の一元化により現場要員の増員、初動体制の充実強化が図られます。

▽広大な山林を有する本町では、山岳での遭難や林野火災、また自然災害による集落の孤立が心配されます。そのような災害が発生した際には、消防へリ(現在静岡市所有)の出动により、迅速な救助・救出活動を行うことができます。

▽消防救急無線のデジタル化や指令システムの整備を共同で行うことにより、単独で整備するよりも経費を縮減することができま

どのような方式で広域化するのでしょうか

島田市、牧之原市、吉田町、川根本町が、静岡市に消防業

務を委託することになります。

広域化により今の北分遣所はどうなるのでしょうか

▽北分遣所は今の体制から変わることはありません。

▽町内で大きな災害が発生した場合には、今までの金谷消防署や島田消防署の応援に加えて、静岡市や牧之原市、吉田町からも応援に来てもらえます。

静岡地域の広域化に向けた取り組みは、下記ホームページで御覧いただけます。



<http://www.city.shizuoka.jp/deps/shobokouikika/index.html>



70歳以上で「いい歯」をお持ちの皆さま、出場者募集!

いい歯☆キラリ☆番人の歯コンクール

自分の歯が急速に失われる時期にある70歳以上の人を対象に「いい歯☆キラリ☆番人の歯コンクール」を実施します。歯の大切さを再認識し、皆さまの健康でうるおいのある生活を目指します。

対象 平成24年4月1日現在、満70歳以上(昭和17年4月1日以前に生まれた人)で、自分の歯が20本以上ある、またはあると思われる人。

※本町では歯の大切さを認識し、若い年代から8020(80歳で自分の歯20本以上)を目指していくため、70歳以上を対象とします。

日時 7月26日(木)午後1時30分～3時30分

場所 山村開発センター(保健室、和室)

申込方法 7月13日(金)までに、電話にて。

【問】 生活健康課健康室 ☎(56) 2222

住民生活室 ☎(58) 7070